
3. 現代民主政とその批判

— 3-1. リベラル・デモクラシーの思想と制度 —

リベラリズム(自由主義)とデモクラシー(民主政)の対立を内包した折衷的制度

主要な要素 代表民主政……選挙を通じた代表の選出
人権の保障……民主政原理に対する歯止め
抑制均衡……三権分立など、権力の相互監視のシステム

福祉国家論

匡正的正義から分配的正義へ……所得再分配・財源としての累進課税
人々の幸福に直接責任を持つ「大きな国家」の誕生

●社会ダーウィニズム批判と修正資本主義

クリストファー・ジェンクス『不平等』 Inequality (1972)

貧困は必ずしも親から継承されるものではない。(……)実際、同じ家庭で育てられた兄弟の間でも、人口全体に見られるのとはほぼ同じ程度の経済的不平等が存在している。(……)標準テストで高い成績を収める人々のあいだでも、人口全体に見られるのとはほとんど同じ程度の経済的不平等が存在している。万人の読書力を平等化しても、経済的「失敗」の数が著しく減ることはないであろう。(……)経済的成功は、家族的背景にも学校教育や標準テストの成績にもある程度関係しか持たない多様な幸運(luck)とか仕事への適性(competence)とかに左右されるように思われる。

偶然に左右される帰結 → 社会ダーウィニズムの正当性批判

修正資本主義

ケインズ『雇用・利子および貨幣の一般理論』(1936) John Maynard Keynes

The General Theory of Employment, Interest and Money

夜警国家論批判……「市場の失敗」、国家による市場コントロールの必要性。

●ロールズ……正義の二原理

ロールズ John Rawls (1921-2002)

リベラル・デモクラシーの理論的正当化

『正義論』 A Theory of Justice (1971)

規範的正義論の復活……仮想的社会契約による正当化

公正としての正義 Justice as Fairness

社会的協働のための公正な基盤

正義原理の導出・基礎付けに関する公正な手続的条件

正義の二原理 two principles of justice

《第一原理》= 平等な自由原理

各人の同様な自由と両立する限り、広範な基本的自由への平等な権利を各人に保障するべき

《第二原理》社会経済的に不平等な取り扱いは

格差原理 the difference principle …最も不利な人々の利益を最大化する場合に正当

公正な機会均等原理…各人に開かれた地位・職務に伴う場合に正当

背景にある理念

出自・才能は社会的・自然的偶然

才能・能力・技能 etc.を社会的共同資産と考え、再分配の対象にする

累進課税制度、affirmative action の正当化 → 福祉国家の基礎付け

●リップハートによる対比

リップハート A. Lijphart, Typologies of Democratic Systems (1968)

求心的民主政……エリートが支配をめぐって競争する形態。イギリス・アメリカなど。

多極共存型民主政……社会の深刻な対立が存在(人種・宗教・民族など)。

エリートの協調によって対立の拡大を避ける。オランダ・スイス・ベルギーなど。

党派間の和解 accommodation

比例代表制などを利用、共存。社会的柱状化の固定・強化

		政治文化	
		同質的	断片的
エリートの 行動様式	協調的	脱政治的	多極共存型
	競争的	求心的	遠心的

ウエストミンスター・モデル Westminster Model

典型……イギリスの民主政。多数派単独支配型。

議会多数党と内閣が同一、司法権も統合されている。

勝敗の明らかな議会(小選挙区制、「三乗則」)

→ アリーナ型議会……議会は少数党が自らの政策をアピールする場 → 政権交代の可能性。

独走可能性と答責性 accountability ……通時的反映。

コンセンサス・モデル Consensus Model

典型……ベルギー・スイスなど。

弱い国家統合、強いサブカルチャー(人種・宗教・民族・政治思想 etc.)

決定的な対立の表面化を避けるため、できるだけ広汎な層の利益を反映させる。

比例代表制を基礎、小党乱立下の連立政権。

共時的反映……直接的な民意。

●ダール「ポリアーキー」polyarchy

ダール R. A. Dahl, Polyarchy: Participation and Opposition (1971)

自由主義と民主主義の相克の分析

参加 participation ・包絡 inclusiveness

自由化 liberalization ・公的異議申し立て public contestation

閉鎖的ヘゲモニーからポリアーキーに至る過程を想定。

		参加	
		小	大
自由化	大	競争的寡頭政	ポリアーキー
	小	閉鎖的 ヘゲモニー	包絡的 ヘゲモニー